

## 基本項目

時間割コード／Course Code : 311127 (OSIPP) /220476 (法学研究科) /020278 (法学部)

開講区分(開講学期)／Semester : 春～夏学期

曜日・時間／Day and Period : 金 5 (16 : 50～18 : 20)

開講科目名／Course Name (Japanese) : 実践グローバルリーダーシップ

開講科目名(英)／Course Name : Special Lecture on Global Leadership

講義室／Room : OSIPP 棟 講義シアター教室

授業形態／Type of Class : 講義科目

単位数／Credits : 2

担当教員／Instructor : 神余 隆博、南部 靖之、南部 真希也、松行 輝昌、清瀬 緑、文 美月、野村 美明、西嶋 聡

## 詳細情報

### 【授業情報タブ】

授業サブタイトル／Subtitle : 授業運営を通してリーダーシップを学ぶ

開講言語／Language of the Course : 日本語

学習方法 : 聴講・視聴/討論/協同/体験・実践/発表

授業の目的と概要 :

(目的)

この授業は、グローバルなリーダーシップの習得と向上を目的としています。

リーダーシップは、リーダーとメンバーが、地球の様々な地域で社会の問題の解決のために、相互に影響を与えながら協力して行動していくことです。

この授業では、リーダーシップが様々な役割を総合的に果たして現状を変革(イノベート)することにあることをふまえ、受講生が「ファシリテーター」「機材係」などの様々な役割をもって授業運営に携わることでリーダーシップの実践を行います。

学生主体の授業です。授業を受けるのではなく授業を創る準備をしてきてください。

(概要)

①グローバルな視点からリーダーシップを実践され様々な分野でイノベーションを引き起こしてこられた方々を講師にお招きし、哲学・経験を語っていただきます。

②双方向的な対話と振り返りを通して、現代社会が直面している問題とその解決のためのリーダーシップについて考察する機会を持ちます。

③発言しやすい環境作りと集中的な練習のために、集中講義が行われます。(受講生は原則として参加してください)

(昨年度の外部講師)

・島田 由香 (ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 取締役 人事総務本部長)

・外岡 瑞紀 (公益財団法人 世界自然保護資金ジャパン (WWF ジャパン) ファンドレイジング室 室長)

・林 久美子 (株式会社 E the P COO)

(受講生の感想)

これまでたくさんの壁を乗り越えてきたゲストの言葉は生半かなものでなく、どれほどに強い自分の軸とグローバルな視点でこれからの日本を見据えているのかがひしひしと伝わってきた。私にとってはこの授業を受けた大きな財産となった。(医学系研究科保健学専攻 1 年)

真のリーダーシップとはフォロワーとリーダーが 相互に影響を与え合い、共通の目標に向けて共に進んでいくことだと学びました。それにより認識を改め、リーダーが必ずしも完璧である必要はないこと、むしろ相互作用の中でフォロワーと共に成長し、その結果優れたチームとして 成熟してくのだと考えるようになりました。

(法学部国際公共政策学科 3 年)

※昨年度の講義日程は以下の URL にて閲覧可能です。

<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/jissen.html>

履修条件・受講条件：

(受講理由書)

シラバスを熟読して、なぜこの授業を受講したいかを記載した受講理由書を CLE にて提出してください。提出内容は A4 用紙一枚以内(Word ポイント 11)とし、ファイルのヘッダーに提出日 氏名 学番 メールアドレスを表記すること。また、必ず表題(データタイトル)に、「2024 実践グローバルリーダーシップ(受講者名)」を表記すること。4 月末日が最終締め切りです。

履修登録していないと CLE にアクセスできないので、早めに履修登録してください(KOAN で履修登録した翌時から CLE にアクセスできるようになります)。

出欠席及び受講に関するルール：

無断欠席した者は評価の対象としません。無断で遅刻・早退した場合も同様とします。

教科書・指定教材：

- ・GLP 共通テキスト(授業中に配布/CLE に掲載するリーダーシップに関するテキスト)
- ・その他適宜資料を用意する(CLE 掲載または配布)

参考図書・参考文献：

以下の他は、講義中に指示します。

野村美明ブログ <http://nomurakn.blogspot.jp/> = 過去の授業の教材や参考資料を掲載しています。「リーダーシップ」で検索してみてください。

ロナルド・A.ハイフェッツ/ 幸田シャーマン 訳『リーダーシップとは何か!』(産能大学出版部, 1996.) = 共通テキストが引用している本です。阪大図書館所蔵(Leadership Without Easy Answers, 1994)

『リーダー・パワー』ジョセフ・S・ナイ(日本経済新聞出版社 2008 年)(原著 Joseph S. Nye, Jr., The Powers to Lead, Oxford, 2008) = 共通テキストが引用している本です。

シャロン・ダロツ・パークス/中瀬英樹訳『リーダーシップは教えられる』(ランダムハウス講談社、2007 年)(原著 Sharon Daloz Parks, Leadership Can Be Taught, Harvard Business School Press, 2005).

平田オリザ・蓮行『コミュニケーション力を引き出す』(PHP 研究所、2009 年)

堀公俊『ワークショップ入門』日経文庫 2008 年。プログラムデザインやファシリテーションスキルが学べます。

特記事項：

この授業は対面で行います。

授業目的に共感し、対話型授業と協働作業に積極的に参加する学生を望みます。

※提出物に関しては、個人が特定できない形で、授業の改善や研究のために引用したり、ゲストに共有させていただく場合があります。

授業時間は原則として金曜の 16:50~18:20 です。16:50~16:55(イントロダクション)、16:55~17:35(講義)、17:35~18:05(Q&A、ディスカッション)、18:05~18:20(学生からの感想/ゲスト・先生方講評)です。

授業計画に基づく詳細な講義日程を、GLP ホームページ、に掲示します。なお、授業の一部を 1・2 年生の授業と共有します。

学習効果を高めるため、グループによる事前の準備、事後の反省と受講者による予習が求められます。

この授業の発展形として、リーダーシップに関する考え方とディスカッションに重点をおいた「リーダーシップを考える」が開講されます。さらなる発展を目指してください。

この授業は、大学院国際公共政策研究科グローバルリーダーシップ・プログラム (GLP) の協力のもとに開講します。GLP で開講する科目を続けて受講することで、リーダーシップをよりよく理解し、身につけることができます。

GLP は大学院高度副プログラムです。要件を満たせば修了認定書が発行されます。

実務経験のある教員による授業科目：

グローバルに通用するイノベーションを引き起こすようなリーダーシップはいかにして可能かを NPO やベンチャー企業のトップなどが五感を通して示す。

#### 【学習目標・成績評価詳細情報タブ】

学習目標 / Learning Goals :

- ① 授業の企画・運営に携わることによって、リーダーシップを実践的に習得し、向上させることができるようになります。
- ② 様々な分野でリーダーシップを発揮されてきた方々の話を聴くことにより、「リーダーシップとは何か」を具体的に把握できるようになります。

成績評価：

提出シート (振り返りシート、自己・相互評価シート) ○ 40%、レポート・論文 ○ 30%、学習への参加度 ○ 30%

成績評価に関する補足情報：

提出シート (振り返りシート、自己・相互評価シート) 40%、レポート類 (受講理由書、学期末レポート) 30%、平常点 (役割分担等) 30%

・受講理由書の締め切りは 4 月末日です。

・受講理由書と学期末レポート (総合振り返り) の 2 つを提出することによって、受講前後で自分自身にどのような変化が生じたのかを実感できます。

#### 【授業計画詳細情報タブ】

授業計画 / Class Plan :

(ゲスト講師の予定により変更の可能性あり)

第 1 回 オリエンテーション

【内容】アイスブレイキング、授業日程の説明、パワーポイントによる授業説明、質疑応答

第 2 回 リーダーシップの基礎

【内容】授業運営方法/共通テキストの説明、ビジネスメールの基礎、グループ分け、グループ内担当決定、授業担当グループ決定

第 3 回 集中講義の計画

【内容】集中講義の企画・計画・役割分担/ゲスト回の流れ確認・役割決め

第 4 回 阪大講義

【内容】講師による講義、授業運営、質疑応答

第 5 回 授業運営に関する議論/集中講義の計画

【内容】授業運営についての確認、質疑応答/集中講義の準備

第 6 回 ゲスト回練習

【内容】ゲスト回の授業運営練習

第 7 回 ゲスト①

【内容】ゲスト①の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッション

第 8 回 ゲスト②

【内容】ゲスト②の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッション

第 9 回 ゲスト回振り返り/プレゼンテーション準備①

【内容】ゲスト回の振り返りとプレゼンテーションの準備

第 10 回 ゲスト③

【内容】ゲスト③の 40 分講義に基づく質疑応答とディスカッション

第 11 回 ゲスト回振り返り/プレゼンテーション準備②

【内容】ゲスト回の振り返りとプレゼンテーションの準備

第 12 回 リーダーシップに関するプレゼンテーション

【内容】リーダーシップに関するプレゼンテーション

第 13 回 イノベーションと経営戦略

【内容】講師による講義

第 14 回 イノベーションとビジネスモデル

【内容】講師による講義

第 15 回 イノベーションとテクノロジー

【内容】講師による講義

授業外における学習：

日程：土日（1泊2日/日帰り）※ 感染対策の為、変更する可能性あり

場所：株式会社パソナグループ様研修施設（兵庫県淡路島）

参加費・交通費： 無料

2023 年の内容例（1泊2日の場合）

- ・施設見学（のじまスコラ、ミエレザダイナー、ハローキティースマイル、ニジゲンノモリなど）
- ・講義
- ・プレゼン&ディスカッション（日本語/英語）

【授業担当教員情報】

野村 美明 国際公共政策研究科 nomura@osipp.osaka-u.ac.jp